

一般自由詠

宇部市長賞

農業に定年はなし八十路われ今日も草刈る山峡の田に

志賀 美知子

宇部市議会議長賞

夫の忌もせわしく暮れてようやくに燈明あかりともせば夜半の雨ふる

岸田 貞代

宇部市教育長賞

遠霞むアーチ一筆弧を描きスカイロードはキャンパスの中

本村 瑞恵

宇部文化連盟賞

一片の氷ふふみて寝間に入るきよの私よおやすみなさい

田中 富美恵

うべ日報社賞

娘とのひっこみつかない朝の喧嘩謝りたいと職場に思ふ

三隅 久子

宇部短歌協会

この先のわが身いかに処すべきか雨にむくげの花重く落つ

坂本 康子

入選

里帰りの娘の植ゑし枝豆の間の草をみざりつつ抜く

五十部 敏夫

入選

公園の塔より望む街広し屋並み耀う春の日差しに

西野木 始子

入選

空仰ぎクマゼミ五体投げ出だす道には小さき秋の来ぬめり

崎田 修平

入選

孫むすめ一人乗り往く里の駅発車の笛の音駅舎へ響く

黒瀬 悦子

入選

夕暮れのとときわ湖にかかる初夏の虹築堤三百年の昔を偲ぶ

安井 敬子

入選

風うけて私の塗ったとまり木に気持ち良さそうかもめのプレート

西田 悦子

一般課題詠

UBEビエンナーレ賞

彫刻の光と影が紡ぎゆく街とひととの絆の強さ

松木 宏

UBEビエンナーレ賞

太い首深き眼窩がんかの「坑夫像ぞう」炭都たんと宇部市の礎いしを語る

崎田 修平

UBEビエンナーレ賞

彫刻に生まれ彫刻の丘に佇つ朱の蟻の城柔ら陽の中

黒瀬 悦子

UBEビエンナーレ賞

夕さりて静まる街の色淡く一日終えし彫刻の有り

本村 瑞恵

UBEビエンナーレ賞

両手あ挙ぐる子の像いくつか在る庭に今朝退院の君を送りぬ

浜中 正代